

経営比較分析表（令和元年度決算）

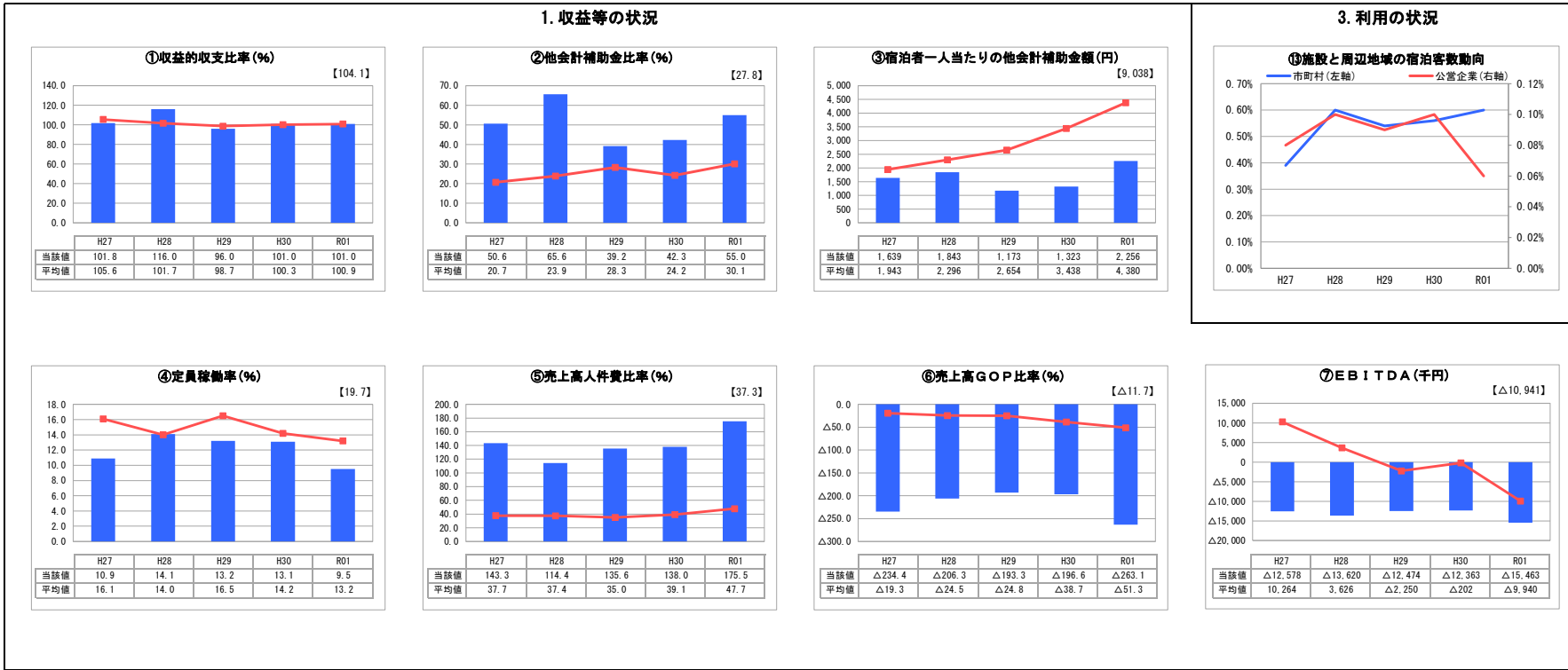
新潟県阿賀野市 五頭連峰少年自然の家

業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	観光施設事業	休養宿泊施設	A 2 B 2	非設置
資金不足比率 (%)	自己資本構成比率 (%)	建物延面積 (㎡)	宿泊定員数 (人)	
該当数値なし	該当数値なし	2,525	200	

客単価 (円)	指定管理者制度の導入	インターネットによる予約割合 (%)
877	導入なし	0.0
バリアフリー法の基準適合性	トイレ洋式化率 (%)	Wi-Fi設置
無	40.0	有

グラフ凡例

- 当該施設値 (当該値)
- 類似施設平均値 (平均値)
- 【】 令和元年度全国平均

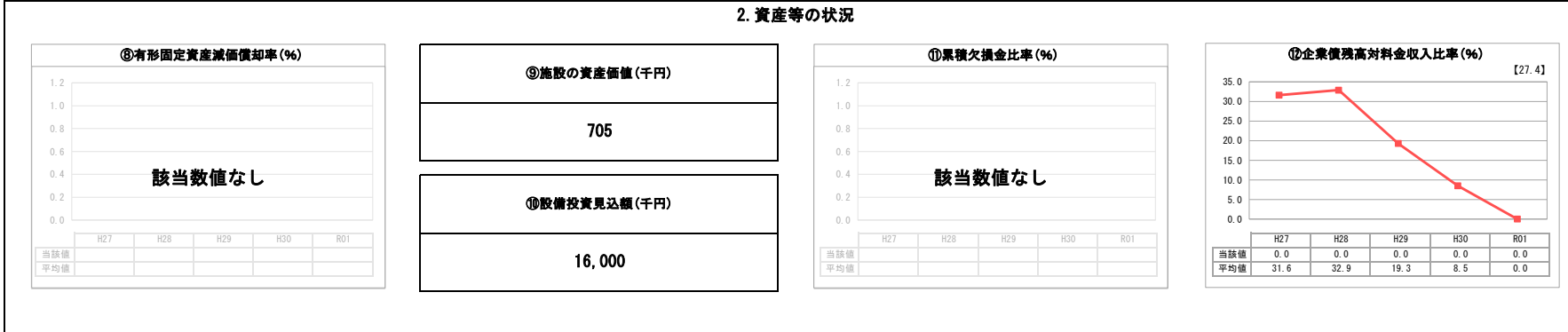


分析欄

1. 収益等の状況について
 当施設は、社会教育施設として青少年の健全育成に資する目的で子どもを含む団体を減免しているため、客単価が低額で料金収入の割合が低く、一般会計からの繰入金に依存している状態である。経営改善に取り組み健全な施設運営をすることは緊急の課題となっている。そのためには、新しい利用者開拓による収入増、主催事業による収入増、日常経費の削減、料金設定や減免の見直しなど収益改善への取り組みが大切となっている。

2. 資産等の状況について
 現在、企業債の残高はないものの、施設全体が老朽化している。毎年の独自点検、3年に1度の建築物定期調査、H28の耐震診断の結果、耐震強度不足を指摘される部分があり、施設全体に修繕が必要な箇所が出ている。大規模な修繕・改修に向け改善計画を作成し、それに沿って適切に施設管理を進めていく。

3. 利用の状況について
 少子化の影響を受け、利用者数は減少傾向にある。利用者増へ導くため、新規主催事業の提案や新しい利用層への案内PRなどの取り組みを進めていく。利用者支援の方法として個人や団体のボランティアの活用、地域との連携などを模索していく。



全体総括
 当自然の家は、市単独で運営している点において、他市町村にない独自性・特徴のある魅力的な施設である。今後も社会教育施設としての運営を基調としながらも、経営改善を念頭に置き健全な運営に取り組んでいきたい。そのために、利用者を受け入れるPR・事業提案・サービスなどの誘客施策や経費支出の抑制、収入増につなげる収益施策、施設の適切な維持管理に繋げる日常管理と修繕計画にバランス良く取り組み、継続的に経営改善を図っていく。